



スイスヨーデルの風

アルプホルンの妖精“リザ・シュトル”を再び迎え、
スイス民俗音楽の神髄をお届けします！



リザ・シュトル

2023年10月6日(金)

昼公演 15:30開演 (15:00開場) 夜公演 19:00開演 (18:30開場)

JAUW会員特別価格 4,000円 全席自由

昼：100枚 夜：50枚限定

主催者販売：一般 4,500円 大学生 2,000円 高校生以下 1,000円

四谷区民ホール 新宿御苑 大木戸門 向かい
東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前」徒歩5分

主催：ヨーデル・ドット・トウキョウ
共催：一般社団法人 大学女性協会 (JAUW)
後援： Schweizerische Eidgenossenschaft
Confédération suisse
Confederazione Svizzera
Confederaziun svizra

Embassy of Switzerland in Japan
スイス大使館

出演：伊藤啓子
アムスレ・クヴァンテット
東京ようでる合唱団
ゲスト：リザ・シュトル
シドラ房子
グシュティ・シドラ

チケット発売は7月10日から
申込方法は裏面をご覧ください。

ホームページ www.jodel.tokyo
公演内容問合せ e-mail : jodel.tokyo@gmail.com
電話：090-9151-8600
チケット申込については裏面をご覧ください



リザ・シュトル アルプホルン

8歳でホルネットを始め、吹奏楽に興味を寄せる。10歳でアルプホルンに出会い、早くも数年後に多数のコンクールに入賞。欧州テレビ局連合「ユーロヴィジョン」のドイツ語圏民謡音楽番組「ムジカテンシュタドル」のユースコンテストに優勝したのち、世界各国からの招待を受けて国際的に演奏活動をするようになる。ロンドン、チューリヒ、ベルリンなど欧州の大都市のほか、ロシア、アラブ首長国連邦、クウェート、中国、アメリカ合衆国その他の国々で聴衆を魅了する。2022年にリリースした6枚目のソロアルバム『スピリット・オブ・ラブ (Spirit of Love)』が国内チャート8位に。*アルプホルンのスイスレディ。とも呼ばれ、スイスを代表するミュージシャンとして活躍するリザ・シュトル。これまで2度来日し、2023年も日本のミュージシャンとのすばらしい音楽体験を楽しみにしている。



グシュティ・シドラ

初来日は1972年。1976年から2016年まで、フリーのリエゾン・エンジニアとして複数のスイス企業(機械部門)のために日本の取引先や支社との協力関係および連携の樹立・維持にあたる。音楽は子どものころからの趣味。スイス民俗音楽を愛好する日本人に出会って以来、積極的にサポートしている。日本コンサートツアーを12回以上企画し、400人を超えるスイス人ミュージシャンを招待。訪れたスイス人に、パフォーマンスするばかりでなく、日本の文化や美しい自然を見てもらい、日本をよく知ってもらうようはからう。また、日本人愛好家の希望に応じて、スイスにおけるセミナーを企画・実施し、連邦ヨーデル祭その他の民俗音楽フェスティバルに参加できるよう尽力するなど、現在にいたるまでサポートを続けている。



シドラ房子 フルト・パンフルート

新潟県生まれ。4歳よりピアノ教育を受け、10歳でフルートを始める。武蔵野音楽大学卒業。フルートを三村園子、吉田雅夫、小泉浩、甲斐道雄、ローラント・コヴァーチュ、ペーター・ルーカス・グラフの各氏に師事。ソリストとしてハーム・プラスオーケストラと共演、ツーク室内楽団、ジャジー・カルテットとのパフォーマンスのほか、ピアニストやオルガニストと演奏活動をおこなう。ルーマニアの楽器パンフルートに魅了され、ゲオルゲ・ザンフィル、ラドウ・ネキフォルなど本場の名手によるマスターコースを受講。現在はフルート奏者・パンフルート奏者としてスイス各地でコンサート、イベントなど広く活躍中。子どものころから文学に情熱を持ち、大学卒業後に専門教育を受けて出版翻訳家に。ノンフィクション、フィクションを含め、これまで30冊以上の翻訳書を出版している。

東京ようでる合唱団

スイスの伝統 ヨーデルコーラスを演奏するために 2013年に結成された合唱団です。重厚なハーモニーと正確なスイスジャーマンを再現するため毎週月曜日の練習に励んでいます。2019年12月、国際基督教大学のクリスマスコンサートにてヨーデルミサを本邦初演し、作曲家マリテレーズ・フォン・グンテンと共演しました。2017年に連邦ヨーデルフェスト・ブリーク大会に続き、今年6月、同・ツーク大会に参加し、スイスの聴衆に熱烈歓迎を受けました。



- Sp 伊藤啓子 瀬川知恵子
T1 青木正身 新井浩二 神崎憲二郎 傳田篤
T2 松永竹生 宮本洋一 森弘行 森棟隆晴
B1 佐々木清廣 虎溪久良 三澤尚登
B2 猪口勇 金井良助 工藤隆司 瀬川隆生
南平哲郎 山本道人



アムスレ・クヴァンテット

スイス民俗音楽を演奏するためにフレッシュで多彩な音楽家が集まって結成された音楽ユニットです。古い旋律から現代作品まで幅広くラインナップされたヨーデル曲、インスト曲をセンスあふれるメンバーが心地よいサウンドでお届けします。大口俊輔ほかによる編曲やオリジナル作品は本場スイスでも高い評価を得ており、Fabian Müller、Nadja Räss、Appenzeller Echo など多くの著名なスイス人演奏家と交流、共演しています。



伊藤啓子 ヴォーカル

15歳のときにスイスで出会ったヨーデルに魅せられ、マリテレーズ・フォン・グンテンなど ヨーデルの第一人者に師事。スイスで3年に一度開催される「連邦ヨーデルフェスト」に日本人として初めて出場が認められ、2005年から5大会連続で参加し最高ランクの評価を受けている。スイスアンサンブル エンツィアン、アムスレ・クヴァンテット、東京ようでる合唱団などを主宰し、様々なスタイルのスイス民俗音楽の演奏活動を行い、数少ない本格的で実力のあるスイス音楽の演奏家として認められている。来日したスイスの大統領の歓迎レセプションで演奏するなど、在日スイス大使館、スイス企業等主催の催しで数多く演奏、またスイス人演奏家との数々のコンサートやツアーを成功させている。



大口俊輔 ピアノ・アコーディオン

英国留学後、東京芸術大学楽理科入学。在学中、作曲を独学し卒業とともにプロ活動開始。これまでに演劇、ファッションショー、映画、絵画、TV等に多数の音楽作品を提供。主なものに、蜷川幸雄演出『エレンディア』出演・演奏、JUNYA WATANABE COMME des GARÇONS パリ・コレクションの音楽制作、tao Comme des Garçons コレクション音楽制作、パリ日本文化会館、小津安二郎無声映画作品上映での作曲演奏など。大友良英スペシャルビッグバンドメンバーとしてNHK朝ドラ『あまちゃん』大河ドラマ『いだてん』等の劇伴演奏。音楽制作・演奏に加え、現場のディレクションにおいて多方面からの信頼が厚い。



長沢友也 ボタンアコーディオン

幼少時代に聴いた、スイス民俗音楽団の来日演奏の情景が中学時代によりみえり、当時の録音テープやレコードを日々何度も聴き、山国スイスに思いを馳せる。2009年にスイスアコーディオン、2012年にボタンアコーディオンを始める。以来レッスンを始めるため、本場スイスに10回以上渡る。4年に一度スイスで開催される連邦民俗音楽祭に2015年より参加、演奏。人々の喜びあふれる中央スイススタイルのランドラー音楽を日本で再現しようと活動する。



山本裕之 コントラバス

コントラバス、エレクトリックベース奏者。1985年生まれ。山口県出身。幼少の頃よりピアノを習い、高校入学と同時にエレキベースをはじめ。コントラバスを齋藤クジラ誠氏に師事する。同世代のミュージシャンとセッションを重ねる傍ら、ドラマの力武誠、ピアニストの荒武裕一郎のバンドに抜擢された事をきっかけに本格的に活動を開始する。2017年より世界的なジャズピアニスト山中千尋の国内ツアー、ライブに参加している。
オフィシャルブログ <http://ameblo.jp/hiroyukiyamamoto/>

チケット申し込み

JAUW 会員特別チケットは fax・メール で受付(7/10 から)

①氏名、②住所、③電話番号、④昼公演か夜公演か選択、⑤枚数をご連絡ください。

申込 一般社団法人大学女性協会(JAUW)

TEL 03-3358-2882(月・火・木・金 11:00~15:00)

FAX 03-3358-2889

Mail jauw@jauw.org

大学生・高校生以下のチケットは主催者にお問合せください

jodel.tokyo@gmail.com

090-9151-8600



メール申込用フォーム



新宿区内藤町87



四谷区民ホール地図QR



- 地下鉄：東京メトロ丸の内線「新宿御苑前」2番出口(大木戸門)より徒歩5分
- 都バス：品97 新宿駅西口～品川車庫「新宿一丁目」下車
- JAUW 本部から 900m 徒歩 13分